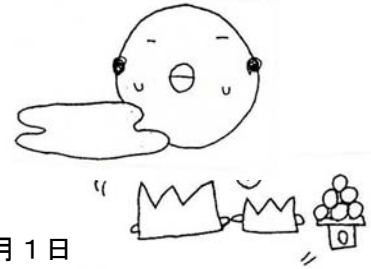


すま しょうがいしゃ ちいきせいかつ しえんせんたー つうしん
すま障害者地域生活支援センター通信 第2号

まちのかぜ



〒654-0023 神戸市須磨区戎町3-5-1 発行：平成17年10月1日

☎078-735-3833 / FAX078-735-3834 / E-mail: shien-center@suma-shakyo.or.jp



ともに考え、ともに生きる

すま障害者地域生活支援センター
 所長 瀬戸 昭

郵政民営化法案が否決され、衆議院が解散になり、それに伴い障害者自立支援法案は廃案になりました。しかし、選挙後の国会で改めて提案される予定であり、少しスケジュールがずれることはあっても、今の方向で進んでいくものと思われま



私たちにとって気がかりなのは、「福祉サービスや医療費の自己負担は1割、食費等は実費負担といわれ、軽減措置が検討されているが実際いくらになるのか。」「貯金や世帯認定の扱いは?」「今受けているサービスを引き続き受けられるのか。」「小規模作業所や施設はどうなっていくのか、経営が苦しくなるようなことはないのか。」「ガイドヘルプや手話通訳はどうなるのか。」等々、大きな枠組みが知らされているだけで、具体的なことは、法律ができてから政省令によって示されるため、肝心のところがよくわからないというのが現状です。今大切なことは、わからないところを確かめながら、こうなっては困る、こういうふうにしていきたい、と言っていくことだと思われま



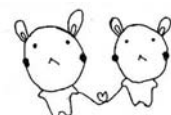
そのためにも、法の中身を知ることが必要です。〈すま障害者地域ネットワーク会議〉では、**12月24日(土)**に、東洋大学教授北野誠一氏を招いて、**《障害者自立支援法により私たちの生活はどうなるのか》**をテーマに、**講演会とシンポジウム**を行います。北野氏は、西宮市や大阪市で、重度の障害者施設の運営や、障害者福祉計画策定で活躍しておられる方です。障害者団体等のシンポジストからは、障害者の生活についての生の声が聴けるものと思われま。区民の方にも障害者の生活を理解していただく良い機会としていきたいと願っております。多くの区民の方が参加してくださいませよう、よろしく願いいたします。



先日、社会福祉法人「訪問の家」理事長日浦美智江氏の講演を聞きました。日浦氏は、横浜の重症児者の通所施設『朋』の運営に携わっておられます。講演の最後に、「**命をみつめることが親と子の原点。歩けなくても、しゃべれなくてもここにいてくれ。そのことが生きる原点になる。くったくのない笑顔を消したくない。しっかり守っていきたい。この笑顔にどう応えていくのか。社会という壁に向かって、勇気をだしてぶつかっていこう。一緒に生きていこう。皆で生まれてよかったといえるように。**」と結ばれました。



これからの障害者の生活について、障がいのある人もない人も、一緒に考えて一緒に生きていきたいと願っています。



すま障害者地域ネットワーク会議 公開シンポジウム

“障害者自立支援法を共に考える”

- 日 時 … 2005年12月24日(土)
13:30~16:30
 - 会 場 … 須磨パティオ健康館3F
パティオホール
*手話通訳・要約筆記あり
 - 参加費 … 無料
 - 定 員 … 250名
 - 申 込 … ☎735-3833
または
FAX735-3834
- ☆すま障害者地域生活支援センターまで!



■第一部■ 講演 13:30~15:00

『障害者自立支援法を共に考える』

講師：北野誠一さん(東洋大学ライフデザイン学部教授)

■第二部■ シンポジウム 15:15~16:30

～障害者自立支援法により私たちの生活はどうなるのか～

コーディネーター：北野誠一さん

シンポジスト：3障害(身体・知的・精神)の当事者または家族と
区内福祉施設のみなさん

地域で
安心して
暮らしたい

たくさんの
人に来てほ
しいな・・・



主催：すま障害者地域ネットワーク会議



※この事業は、独立行政法人福祉医療機構(高齢者・障害者福祉基金)助成を受けて行われます。

* すま障害者地域生活支援センターには、ヨハネ地域生活支援センター 分室 もあります *

ヨハネ地域生活支援センター

ってこんなところです

人と人との出会いを大切にし、地域で生活する一人ひとりがあるのままで安心して生活できるようにお手伝いするところです。

生きていると人間は、いろんな問題にぶつかって悩めます。時には一人で解決できないこともあるだろうし、何から考えたらいいいのかさえ分からない時もあると思います。

そんな時は、一人だけで悩まず、また家族だけで悩まず、私たちにご相談ください。いっしょに考えていきたいと思えます。

相談方法

利用しやすい方法でご相談ください

電話 開所時間内いつでもどうぞ
(受付時間 20:30まで)

面接訪問 30分～1時間 ご予約ください
ご自宅だけとは限りません
まずはお問合せください

メール 返信に時間がかかる場合もあります

FAX 返信に時間がかかる場合もあります

サテライト相談室「フラット」 毎週水曜日
13:15～16:30

活動内容

センターではこんなことをやっています

交流の場 仲間作りや憩いの場として活用ください

カフェ OPEN 10:00～19:00
メニューはすべて100円です

ランチ 350円です (申込みが必要です)

プログラム活動
レク、講座、相談などがあります
ご自由に参加していただけます

**就労支援
情報提供**

他 交流スペースや備品の貸出しも行っています
各種ボランティアも随時受け付けています

〒654-0015 神戸市須磨区奥山畑町2番地
TEL: 078-737-6936
FAX: 078-735-2078
e-mail: yohane-center@beach.ocn.ne.jp
HP: <http://www16.ocn.ne.jp/~yohane>

◆利用案内◆

開所日 月曜日～土曜日

(日曜と祝日は不定期で開所しますので、機関紙にてお確かめください。)

時間 9:00～21:00

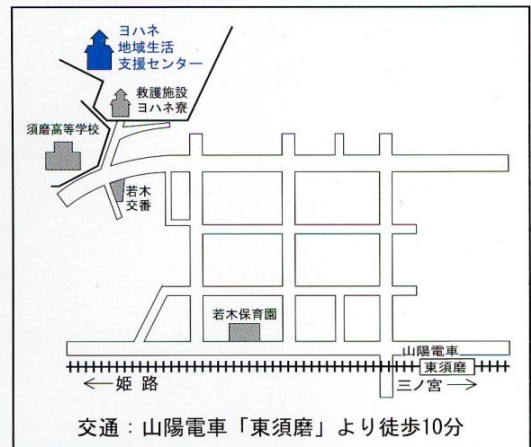
* ご利用の際は登録していただくこととなりますが、まずはご相談ください。

* 登録料や利用料はかかりません。

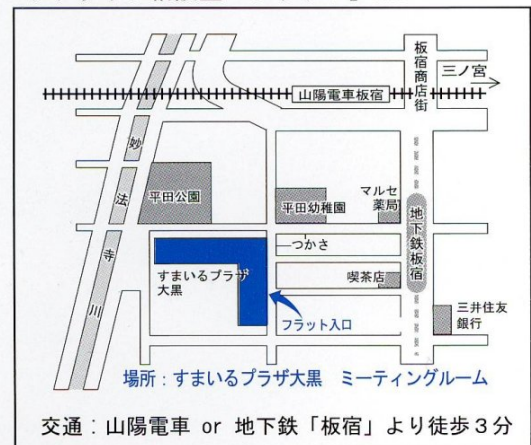
* 行事の参加や食事代の実費のみが自己負担になります。

心の問題に、手帳や通院の有無は関係ありません。ご本人、ご家族、周囲の方々、どなたでもけっこうです。

ヨハネ地域生活支援センターMAP



サテライト相談室「フラット」MAP



ピアカウンセリング

～私たちがセンターでみなさんのご相談をうかがいます～
原則として予約制(当日予約OK) TEL 735-3833 FAX 735-3834

ピアカウンセリングへきませんか!

聴力障害

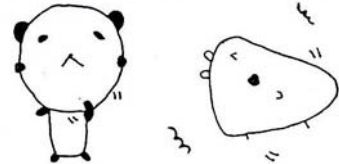
毎月第2金曜日 10:00～12:00
鈴木奈麻美 相談員

ろうの方・難聴の方・途中で失聴された方・盲ろうの方やご家族の方のご相談をお受けします。また、聴覚障害に関するあらゆるご相談やご質問に対しても情報提供をいたします。お気軽にご利用ください。前もっての予約をお願いいたします。



一人で悩んじゃダメだよ

心配なことがあるの



■《ピア》とは、同じものを共有する仲間のことです。

障がいのある人が、体験にもとづいて《仲間》の悩みや、相談をうかがいながらいっしょに解決をめざしていきます。

* プライバシーはかならず守ります。

肢体障害

毎月第3土曜日 10:00～12:00
池内正 相談員

障がいがあっても、生き生きと自立した生活をしたいものです。様々な分野の力も借りて、信頼関係を築きながら、ご一緒に問題の解決をめざしていきたいと思っています。お気軽にお立ち寄りください。



視力障害

毎月第4木曜日 10:00～12:00
中川安信 相談員

きのうより
今より
明日のお話を
しませんか。

待っています!



心の問題を一緒に考えさせてください。

♥ 第1・3水曜日
♥ 毎週 金曜日
(祝日はのぞく)
13:00～16:00

♥ 月1回 金曜日
『家族会』
(日程はお問い合わせ下さい)

ご本人はもとより、ご家族やご友人、周囲で支える方々。どなたでもけっこうです。面談、電話のどちらでもかまいません。どうぞお気軽にご利用ください。

なお、面談の場合は、事前にご予約ください。
(当日も含む)

ヨハネ地域生活支援センター分室では

小規模作業所探訪 vol.1

ひまわり・スイーツ

須磨区内には、心身に障がいを持つ方の自立を支援する施設として11か所の小規模作業所があります。今回より、小規模作業所を一ヶ所ずつご紹介します。題して「小規模作業所探訪」。トップバッターは、区内で最も歴史の古い**ひまわり・スイーツ**です。
(※正式には「精神障害者小規模通所授産施設」と言います)



歩み 「ひまわり・スイーツ」は精神障害者の家族会の代表の方が自宅を開放して「ひまわり作業所」を開設したのが前身です。昭和58年のことでした。まだ法律的な位置づけもなく当然補助金もない時代に、まったく自分たちの努力で立ち上げたのです。その後、救護施設「ヨハネ寮」の敷地を借りたり、菊池町の1軒屋で震災にあい全壊、須磨の海岸の仮設住宅で作業をした時期もありました。作業所の物件探しは、当時まだまだ精神障害者に対する理解がなく困難を極めたそうです。そして平成10年、人数が増えたため製菓の「ひまわり・スイーツ」と別に自主商品の製作・軽作業の「すまいる・フレンズ」に分かれました。当初、精神状態の悪かった利用者さんが作業を続けることで信じられないほど状態が良くなり、そして中には就職間近の方もいるそうです。



紹介 山陽電鉄東須磨駅の踏み切り南側を西にほんのちょっと行ったところに「ひまわり・スイーツ」はあります。登録されている方は20名。平均8名の方がここで仕事をされています。開所日は祝日を除く月曜から金曜。10時から16時まで、受注が多いときは残業もあります。お菓子を作っているのです、クリスマス・シーズンは大忙し。



朝10時に集合すると「気分調べ」というミーティングをします。指導員さんも含めて全員がその日の気分や体調を話します。それはその後の仕事の振り分けに大切なこと。そしてその中で、大事なのが衛生検査。前日入浴したか、爪を切っているか、指に傷がないか確認しあいます。お菓子作りに欠かせない作業です。

昼食はお弁当なのですが、第1・第3水曜がボランティアさんが昼食を作る「ボランティア・ランチ」、第2・第4水曜がみんなでメニューを決めて買い物をして食事をつくる「メンバー・ランチ」。皆さんとても楽しみにされているそうです。

それと、月1回の行事。皆でどこに行くのか決めて、映画やハイキング・カラオケ etc.

指導員の薩川さんは、「小さな社会」だけどボランティアさんに来てもらって風通しを良くして、居心地の良い素敵な場所であって欲しいと願っているそうです。マドレーヌやクッキーなど店頭販売もしていますので、是非みなさんもお立ち寄りください。



利用者の方の声 9月16日金曜日の午後、ミーティングの場で紅茶とクッキーをいただきながら、利用者の方の話をお伺いしました。みなさん、異口同音におっしゃるのは「ここで仕事ができるのが楽しい」また、映画やボーリング・食事などの「行事が楽しい」。「ひまわり・スイーツ」での期間は違う



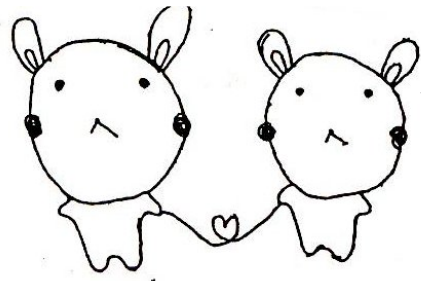
ですが、薩川指導員を含め和気あいあいとした雰囲気でした。とても良い人間関係を築いておられる、お互いに助け合う優しいつながりが伝わって来ました。それと、今後の夢は就労や社会復帰あるいはここで働き続けたいと様々なのですが、皆さん仕事の出来ることの喜びをそれぞれの言葉で表現されておられたのが印象に残りました。

まだまだ「精神障がい」に対する理解が少ないことで苦しんでおられるとの声や「障害者自立支援法案」が成立したらどうなるのかという不安の声もありました。

住所 〒654-0032 須磨区堀池町 2-4-12-101 電話・FAX 078-735-7285

10月のまちかど情報

まちかどギャラリー



みんな
きてね

市民のみなさんの、趣味・創作の作品発表の場としてご利用ください。
 ～絵・写真・手芸など何でも～

♥申込方法♥ 先着順（企画展示）
 ♥利用料♥ 無料

ただし、営利を目的としないものにかぎる

♥期 間♥ ご相談の上で
 ♥時 間♥ 10:00～16:00
 ♥そ の 他♥ 併せて、須磨区内の小規模作業所の紹介や製品の展示をします。（常設展示）



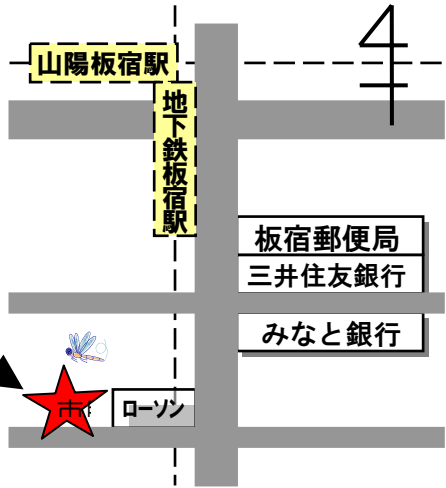
《古いも障がいもなんのその～飲びのちぎり絵 三人展》

■ 期間 ■ 10月17日(月)～10月23日(日)
 10:00～16:00

■ 場所 ■ すま障害者地域生活支援センター

復興住宅の“ふれあい手芸”から始まった、
 多くの人たちとの出会い。
 季節の移ろいを切りとり、生きる喜びをうたう、
 堂脇京子さん、田中繁子さん、相川敏子さんの三人展。

- すま支援センターの事業内容
- * 地域生活に必要な制度やサービスの情報提供や、利用のお手伝い。
 - * ささまざまな内容のご相談の受付。
 - * 支援費制度の相談・受付・調査。
 - * ピアカウンセリングの実施。
 - * 地域啓発事業の実施
 （まちかど講座・まちかどギャラリー）



編集後記 第2号をお届けします。今号も垂水養護学校高等部二年の松本絵里奈さんのイラスト協力をいただきました。絵里奈さんの作品は、小規模作業所「小春日和」の、「イツ・ア・ポストカードワールド」オリジナルポストカード作品募集でみごと♥入賞♥しました。祝！祝！
 通信へのみなさまのご意見や原稿をお待ちしています。（N）